



府中国際交流サロン
FUCHU INTERNATIONAL SALON

くろする〜ど

2019/11月号

かいほうし
会報誌



〜サロン月間カレンダー11月〜

「私のふるさとを語る」報告

■文化交流活動

11月1日(金) 午前10時半〜12時

「ハワイアンダンス教室」15名・無料

場所：託児室

*毎水午後1時半〜4時もダンス教室あり

11月8日(金) 午前10時半〜12時

「ミニワールドカフェ」定員なし・無料

場所：サロン3階奥の部屋(倉庫前)

*申し込みは7日(木)12時まで

11月22日(金) 午前10時半〜12時

「絵手紙教室」15名・100円

場所：サロン3階奥の部屋(倉庫前)

*申し込みは21日(木)12時まで

★以上の対象は学習者とボランティアです

詳しいことは、事務局まで

■月例勉強会

11月9日(土) 午後2時〜4時

「音声講習会・実践編」

講師：中村則子先生(早稲田大学非常勤講師)

場所：サロン2階会議室

対象：ボランティア(学習者も参加できます)

■小学校訪問

11月21日(木) 午前9時〜12時半

場所：府中市立第六小学校

対象：学習者(ボランティアが付き添い)

府中国際交流サロンは、府中に住む日本人と外国人が、仲良く助け合っ
て楽しく生活していくことを願って、活動を
つづけています。

金曜午後ボランティア 安島 文江

毎年好評を得ている「国際ふれあい会・私のふるさとを語る」も今回で7回目。10月5日(土)に市民活動センタープラッツで開催され、市民、市役所・サロン関係者、合わせて35名の参加で行われました。今回は、王云齋さん(中国)と、デニス イルシェンコフさん(ロシア)から、ふるさとの料理や、自然などについて話をして頂きました。

王さんからは「生まれ育った北京の四季の料理」について話がありました。各季節に食べる料理に古代からの伝統や知恵が今でも生き続けていることがよくわかりました。

デニスさんからは生まれ育った町Sosnovy Borや、近くの、観光客に人気の高いサンクトペテルブルクの紹介がありました。自然の美しさ、教育制度など、たいへん興味深い話でした。

お二人の話の後には、中国とロシアのお茶とお菓子などを食べながら、質疑応答とおしゃべりで楽しく、にぎやかに盛り上がりました。ある市民の方は、この「国際ふれあい会」を日頃から楽しみにされており、発表者の生の声を聴き質疑応答できることがたいへん嬉しい、との感想でした。学習者にとってサロン以外の場所で市民の方と交流するにはそれなりの準備が必要ですし、緊張感もあります。こういう機会があれば学習者も自信が付きレベルアップしていけると思います。

来年はどこの国の「ふるさとの話」が聞けるか、楽しみです。

せ かい ぶん か
世界の文化

こくさい かい
~国際ふれあい会~
わたし かた
「私のふるさとを語る」

おう うんえい ちゅうごく
王 云齋(中国)~1~

みなさん、こんにちは。私は王 云齋です。私は生まれて育った北京が大好きです。今日は、「北京の四季の料理」についてお話したいと思います。

北京は3000年以上続く都市で、さらに800年以上も首都です。そこに住む人々は二十四節気を大切に守っています。二十四節気は、中国の戦国時代頃に1太陽年を24等分し、その分かれ目に季節を表す名称を付けたものです。

これから春・夏・秋・冬に分けて、北京のいくつかの節気の料理についてお話します。

はる りんたいとう りっしゅん しゅんぶん せいめい
<春：龍擡頭・立春・春分・清明>

最初は、春です。春では四つお話します。一つ目は龍擡頭(ロンタイトウ)です。

龍擡頭(ロンタイトウ)は中国のお正月の終わりの日、太陰暦の2月2日です。龍擡頭(ロンタイトウ)とは、「龍が頭を上げる」という意味です。

「龍擡頭(ロンタイトウ)」には「龍胆(ロンダン)」と「春餅(チュンビン)」を食べます。「龍胆(ロンダン)」は「中に小豆が入った揚げ饅頭」です。

この日にはひとつ特別なことをします。それは髪を切ることです。

なぜなら北京ではお正月の間は髪を切ってはいけないという伝統的な習慣があるからです。もし、髪を切ったらおじさんが死んでしまうと言われていました。私には3人のおじさんがいます。彼らに死んでほしくないのです、私はこの教えを守っています。

立春にも「春餅(チュンビン)」を食べます。春餅(チュンビン)は、全然もちもちな感じじゃなくて、野菜、肉と甜面酱(ティエンミエンジャン)を薄いパンケーキに包みます。

次は春分です。

春分の日には玉子をまっすぐに立てることができると、1年の好運を得られると言われています。みなさん、後では是非試してみてください。

四つ目の清明の週末には、家族と一緒にピクニックやハイキングをしたり、亡くなった家族を思い出します。その時に特別なお菓子13種類を食べます。それらの中で一番有名で安いのは焦圈(ジャオチュエン)と豆汁(ドウジュン)です。

みなさん、この一人前はいくらだと思いますか？
(正解は、2つ合わせても たった50円です)

なつ りつか しゅうしょ
<夏：立夏・小暑>

次は、夏です。夏では三つについてお話します。北京の夏は、東京と似ていて蒸し暑いですが、そのために食欲がなくなるので、麺を食べます。特に立夏と夏至の日には、伝統として麺を食べます。炸醬麵(ジャジャンメン)や茄子麵(チェツウメン)、麻醬麵(マージャンメン)、醋鹵麵(ツウルウメン)が定番です。

次は小暑です。小暑の後、北京では暑くなります。その後のおよそ一か月半を「三伏(サンフウ)」と言います。

最初の10日間「頭伏(トウフウ)」、中間の20日間「二伏(アールフウ)」と最後の10日間「三伏(サンフウ)」に分けられます。最後の10日間は三つの中でも暑い時期になります。

その三つの最初の日には特別な料理を食べます。頭伏(トウフウ)には餃子、二伏(アールフウ)には麵、三伏(サンフウ)には餅と玉子を食べます。

編集部注：この原稿は、10月5日に行われた「国際ふれあい会~私のふるさとを語る」で王さんがスピーチされたものです。一部、パワーポイントを使用して説明した箇所があります。



ふるさとを紹介する王さん

べんきょう 「勉強いろいろ・・・」

パク ミョンヒョン かんこく
朴 明 賢 (韓国)

先日、日本語能力試験のN2に合格しました。サ
ロンで教えてくださった先生方のおかげです。本当
にありがとうございます。

先生方から聞いたいろんな話がとても面白くて、
なかなか忘れませんでした。

たとえば、漢字「恥」の読み方の問題。私は「恥ず
かしい」の「はず」だと勘違いしていました。しか
し先生が日本の「恥の文化」について話してくれた
ので、「はじ」という読み方を完全に覚えしました。

また先生が「掃除するのが好きではないので、う
ちはホコリだらけです。」と言いました。うちもホコ
リだらけです！

ところがその文がそのまま試験に出ました。もち
ろん私はすぐ正解の「だらけ」を選びました。

韓国には「お尻の力」という言葉があります。辛
くても我慢して長く勉強することの意味でしょう。
私はそれが苦手です。ずっと座って勉強してもあま
り面白くないです。

それで私は、先生のオススメの本、直木 實をもら
った奥田英朗の『空中ブランコ』先生と一緒に読み
始めました。小説を読むのは大変でしたが、あれが
本当に面白くて、いつの間にか、はまりました。

韓国語の翻訳本を読みながら予習をするほど、楽し
かったです。

読解の点数が一番高かったのも、そのおかげだと
思います。

これからN1に挑戦します。大変だと思いますが、
がんばります。

日本語能力試験を準備する皆さん、一緒に頑張り
ましょう！



しん

新ボラさん こんにちは

きんよう ごご
金曜午後ボランティア 小 林 義 弘

会社を定年退職して5年になります。実は退職時
の送別会で「6年後の東京オリンピックでボランテ
ィアとして活躍します！」と宣言したのですが、現実
はそう甘くはありませんでした。ハードルはかなり
高く、ボランティア募集はスルーしてしまいました。
しかし、昨年のこと急に英会話の勉強がしたくなり、
英会話スクールに通うようになりました。現状は
上達するのは難しく悪戦苦闘の連続です。でもレッ
スは楽しいので続けていきたいと思っています。

オリンピックのボランティア

は、あきらめましたが、外国の
方と交流をしたいとの気持ちは
変わることがなく、今回のボラ
ンティア募集に参加させて頂き
ました。性格的にすぐに戦力
になるのは、自信ありませんが、
長く続けられるように頑張りたいと思います。

ボランティアの皆さま、学習者の皆さま、よろし
くお願いします。

最後に、少し趣味などを紹介させていただきます。
プールでの水中歩行、ヨガ、書道、前述の英会話を
行っています。また、映画鑑賞、競馬は大好きです。
お酒も大好きです！

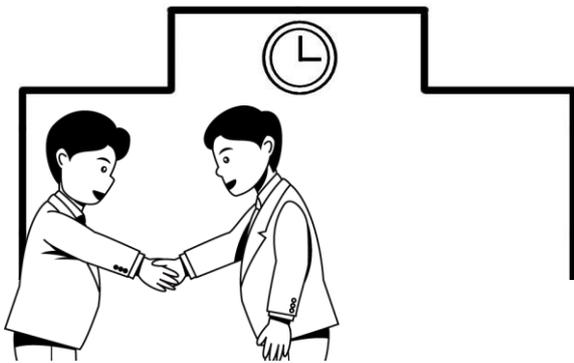
まったくの蛇足ですが、愛称は「コバちゃん」と
「よっちゃん」です。よろしく！



げんざいちゅうごく りゅうがくせい きょういく かんごし かいご
現在中国からの留学生を教育して看護師・介護
ふくしし そだ びょういんなど しょうかい そしき しよぞく とうはく
福祉士に育て、病院等に紹介する組織に所属してい
ます。その留学生との交流会で隣に座った留学生
こえ
に声をかけましたら「私、日本語できません」と断
られしました。たぶん、せつ かつ もんだい
接し方に問題があったのでし
ょう。

にほんご むづか
日本語はとても難しいことを今回の研修で思い
し
知りました。そんな難しい日本語を勉強している人
たちには少しでもお手伝いできたと思います。そ
して彼らと上手にコミュニケーションをとれるよう
になりたいと思っています。

これから日本へくる外国の方が増えていきます。
わたし にほんご ふか かつ
私たちの日本には不可欠です。しかし、日本語がう
まくできないというだけで拒絶する病院やホーム
が多いです。日本語がうまくできず、結局就職に
おお
失敗して行く方知れずになる人も多いと聞いています。
にほんご さいだい かわ
日本語が最大の壁になっているのですね。なんとか
できれば、と思うばかりです。



せんご ねん へ ころ くに こくさいきょうりょく ろつ かげつごと
戦後25年を経た頃、国は国際協力として6ヶ月毎
に更新する4人の医療チームを東北タイの2つの県
に2～3年の予定で派遣しました。

主人は通年の調整員として、日本赤十字社からの
チームの担当。私と長男は家族として遠い異国、王
様の国へと行くことになりました。

当時まだ身近には、タイ国で話されている音声や
ことばの辞書も無く、暗中模索の出発でした。

現地に向かう列車の中で初めて、現地の人々の
おんがく かいわ みみ かんどう
音楽的な会話を耳にし、感動し、同行してくれたタイ
の方に早速、数字や簡単な挨拶などを付け焼き刃
でチームの全員が教えてもらいました。

医療チームの仕事は、県庁所在地の病院での
けんしゅうきんむ とお こくきょうきんべん
研修勤務と、遠い国境近辺へのモバイル診療で、
どこでも大いに歓迎され大変喜ばれました。

病院や保健所関係の方々には皆さん教養深く人柄
にも優れ、現地に住み着いた我々日本人に大いに声
おお
掛けをして、彼らの生活の場や行事の場へと誘って
くれました。大家さんや近所の人々、マーケットの人
とも沢山おしゃべりをしました。

おす
勧められて広い庭で飼育し、大いに生活を豊かに
たの 楽しくしてくれた有名なシャムネコ、真っ黒な小型
のチベット犬、‘ガイゴアンゴアン’と甲高く誇らし
げに鳴く2番いの七面鳥たちが、帰国間近となった
ときにはそれぞれが家族を増やし、我が家の待望の長
女誕生を、共に祝ってくれました。そのペット達
は全てお世話になった方々への良い置き土産として
よろこ 喜ばれ、元気に6歳に成長した長男は耳学問のタイ
語で友達と別れを惜しみ合いました。

そして今、孫育ての手伝いも完了した私は、原点
を思い返し反対の立場で「楽しく明るく日本にこ
れた方々のお役に立ちたい」と願ってこの活動に加
えて頂きました。先輩の方々を見習ってしっかり励
みたいと思います。どうぞ宜しくお願い致します。

1990年より府中市民となり30年近くこの街で生活しています。子育ても終わり、3年ほど前に、何か自分に出ることはないかと思っていた時に、府中市の国際交流サロンの事を知り、日本語学習会に興味を持ちました。ところが昨年は日本語研修会の募集がなく見送ることになり、やっと今年、日本語研修に応募する事が出来ました。研修を終えて、9月から参加させていただくようになり、学習会の先輩ボランティアの皆さまに色々教わり、親切にしていただき、楽しく通わせて戴いています。

若い学習者さんから元気をもらいながら、私も一緒に成長したいと思います。色々な国の皆さんから知らない世界を学びたいと思います。どうぞ宜しくお願いします。



すいようごご たなか たまえ
水曜午後ボランティア 田中 玉江

義理の母の介護で忙しい中、「ふちゅう広報」で募集を知りました。今まで誰かに何かを教えたことが一度もない私でも出来るだろうかと、半信半疑で申し込みました。

受講初日、受講者の自己紹介がありました。皆さん、それぞれしっかりとした目的を持って来られた方が多い中、私は何か新しいことがしてみたいと思っ参加しました。

講義を受ける中で、普段なにげなく使っている日本語を改めて見直し、再認識させられました。

山田先生、スタッフの皆様そして受講者の皆様に支えられて無事10回の講習を終えることができました。

ありがとうございました。

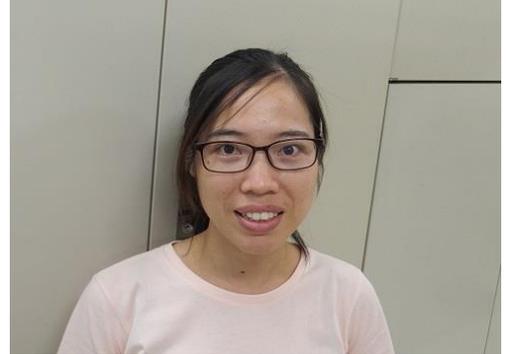
自信はなく不安でいっぱいですが勇気を出して、水曜午後ボランティアで、ベテラン先輩のもと参加させてもらっています。

学習者とのコミュニケーションを大切に楽しくやって行けたらと思っています。

これからもご指導宜しくお願い致します。

みな がくしゅうしゃしょうかい
皆さんよろしく◇学習者紹介

ホアン ティ ルックさん(ベトナム)



がんば 「頑張っています」

ベトナム人のご主人と4歳のお子さんと一緒に2019年1月ベトナムのハノイ市から日本にやってきました。

ご主人はベトナムの銀行に勤めていたのですが、日本の銀行のインタビューを受けて、入社が決まり府中にある銀行に勤めています。

ルックさんはサロンで週2回勉強をしています。が、神泉にある日本語学校「長沼スクール」で週5日、9時から12時半まで勉強しています。渋谷区神泉まで行くには、朝7時20分には家を出ます。朝はご主人が8時にお子さんを保育園に連れて行ってくれますが、夕方5時にはお子さんを保育園に迎えに行くので大忙しです。

そのうえ、日本語学校の授業料は自分で働いて出そうと、アルバイトをしている頑張り屋さんです。

ベトナムの大学では経済を学び、会社では人事部で働いていましたが、日本語が上達したら日本の会社で働きたいという夢を持っています。

趣味は旅行をすることで、今まで、大阪、京都、静岡に行ったそうで、これからもいろいろなところに行ってみようと思います。

日本の食べ物は魚が新鮮なので、お寿司、お刺身も大好きで、焼き魚もよく食べるとのことです。

頑張り屋さんですが、無理をし過ぎて身体を壊さないように気を付けて下さいね。(堤 林)



べん きょう かい ほう こく

勉強会報告

～97～

「学習会2時間枠の使い方」

げつよう ごご さとう えいこ
月曜午後ボランティア 佐藤 英子

10月16日（水）、13名（内9月からの新人が5名）が勉強会に参加しました。

初めに8名の経験者ボランティアが「2時間をどう有効に使うか」というテーマに沿ってそれぞれの体験経験を発表、失敗談も忌憚なく語られ大いに盛り上がりました。

サロンにやって来る学習者は様々です。すでにN1を取得しているような上級者の場合は、本人の目標に合わせて臨機応変に会話や講読をやっていることが報告されました。

一方、サロンの主たる学習者である初・中級者の場合は、相手の状況を把握し、「楽しく」「あきさせない」ことが、まず教える側の心構えとして大切だと強調されました。（学習者の真の集中力は20分位だそうです。）そのために例えば2時間を3～4分割し、

- ①最初の15～20分…相手を知るために生活状況等を話してもらおう。
- ②15～20分…前回やったことを復習。宿題を出していればその確認等。

休憩

- ③15～20分…本日の課題。
- ④15～20分…まとめ。今日やった中で覚えてほしいセンテンス、文字等の確認。宿題を出してもいい。

これは一例です。分割の内容は各ボランティアが漢字カタカナの書き取り、文型練習、図を使って会話練習に充てたりと工夫していることも報告されました。

相手の必要としていることを掴むと一口に言っても時間がかかるし、難しいし、学習者との間に思わぬ行き違いが起こることもあるかもしれません。「焦ってはいけないと自戒している」という印象深い発言もありました。

会の終わりに新人ボランティアから、「時間の配分の話はよかった」「相手のレベルを知るために『書いて覚える文型練習帳』を紹介してもらえてよかった」という感想が寄せられました。



む さ し ち ゅ う ま ん よ う き ん さ く
「武蔵府中を万葉散策」その2

き ん よ う よ り わ だ や す ひ ろ
金曜夜ボランティア 和田 泰弘

6月号に続き、今回は府中にあるもう一つの『万葉集』ゆかりの場所を紹介し

郷土の森を散策すると、園内の真ん中を流れる小川にぶつかり、ちょうどその中ほどあたりのハケ上に石碑があります。そこに刻まれているのは、『万葉集』巻二十の4417番目にある

「赤駒を 山野に放し 捕りかにて
多摩の横山 徒歩ゆか遣らむ」

(大意：山や野に放してある馬を捕まえることができず、夫は歩いて多摩の山並みを越えて防人として行かねばならないのだろうか…。防人は馬を使うことが許されていましたが、馬を捕えることができず、歩いて山を越えて任地へ行かなければならない夫を思い遣る妻の歌で、作者は、武蔵国豊島郡に住む宇遅部黒女です。奈良時代の武蔵国豊島郡は、現在の豊島区・文京区・荒川区・北区・板橋区あたりを、また、「多摩の横山」は多摩川南岸の多摩丘陵や高尾山系の山並みを指すようです。

過日、昭島市拜島にある病院の屋上階から西を眺める機会があり、多摩川に沿うように南北に延びる山並みが180度に広がって目に入りました。まさに「多摩の横山」、それは壮大なパノラマのようで、多摩山系がこんなにも美しかったのかとはじめて気づきました。高い建物などなかった時代、多摩から遠く離れた所からも見渡せ、はるか彼方に連なる「多摩の横山」は万葉人たちにとって日常の眺めだったのでしょ

うでしょうか。遠く西へ赴く防人とそれを見送る妻一。晩秋のひととき、多摩の横山を眺めながらこの一首に思いを馳せるのも一興かと思



ぼ う さ い く ん れ ん ほ う こ く
「防災訓練報告」

す い よ う ご ご す え だ け い じ
水曜午後ボランティア 末田 圭治

台風19号による被災のニュースなどに触れて防災訓練をすることの必要性を再認識した人も多かったのではないのでしょうか。

サロンの防災訓練は、月曜午前(10/28)、月曜午後(10/7)、水曜午後(10/2)、金曜午後(9/27)、金曜夜(9/27)で実施しました。水曜部会では、地震発生時に行う「しゃがむ、あたまをまもる、じっとする」の絵と英語表記を示し、学習者とボランティアのペアで意味理解をし、全員が机の下に入る行動ができ、ペアでの避難もできていました。

これらの避難訓練を通じて、日頃からボランティアと学習者との信頼関係や連携が大切だと

自身の認識の訓練を受けた思いがしました。

し み ん き ゅ う ど う し
「市民協働まつりのお知らせ」

今年もプラッツにおいて「市民協働まつり」が開催されます。「府中国際交流サロン」もPRのためブースを設けて参加し、2日間にわたり、消しゴムスタンプを楽しんでいただく企画も用意しています。是非、足をお運びください。

に ち じ が つ か ど に ち ご ぜ ん じ は ん ご ご じ
日時:11月23・24日(土・日)午前9時半～午後4時
ば し ょ こ く さ い こ う り ゅ う ま え
場所:プラッツ・国際交流サロン前(ル・シーニュ5階)

「2019年サロンの集いのお知らせ」

～編集後記～

2019年度の「サロンの集い」が、下記の要領で開催されます。恒例の世界各国の料理やアトラクションを楽しみながら、年末のひと時、学習者、ボランティア、そして市民との交流を行います。

日時:12月14日(土)午後5時半～8時(開場5時)

場所:プラッツ・バルトホール(ル・シーニュ5階)

参加費:大人(中学生以上)1200円・小学生600円

乳幼児無料

対象:学習者・ボランティア・市民

定員:200名(定員になり次第締め切り)

申し込み:11月11日(月)～12月6日(火)まで

*詳しいことはサロン事務局にてお聞きください。

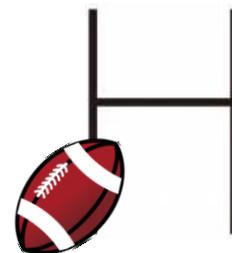
9月20日～11月2日まで日本で開催されたラグビーワールドカップが、これ程多くの人達を熱狂させようとは思わなかったことでしょう。

「ラグビーのまち府中」としてはイングランドとフランスの公認キャンプ地となったうえ、日本代表に東芝、サントリーの選手が7人選ばれたこともあり、パブリックビューイングはじめ色々なイベントがありました。

ラグビーワールドカップの始まる2か月位前から放映されたテレビドラマ『ノーサイドゲーム』(池井戸潤作)には、府中のあちこちが登場したことも手伝って、ラグビーがとても身近なものになりました。

一次リーグに4勝し、はじめて念願の8強となりましたが、惜しくも準々決勝で負けてしまいました。

「にわかラグビーファン」の私もラグビーの面白さに自覚め、世界の強豪のプレーに魅せられた一人ですが、サロンの皆さまいかがでしたか? (堤林)



「バーベキューの集い返金のお知らせ」

10月19日(土)に予定していましたが、台風19号の余波により中止となりました。それに伴い、申し込みされた方には参加費を払い戻しいたします。返金の手続きはサロン事務局で行っていますのでお申し出下さい。(編集部)

【編集】編集長:和田泰弘

会報部会:堤林、和田、岩城、末田

【事務局】電話:042-352-4178

E-mail: mail@fuchukokusai.gr.jp

サロンのホームページ

<http://www.fuchukokusai.gr.jp>